

令和6年度当初予算案の要点

大野市

高速交通網の県内延伸を生かして、地域の魅力を発信し、地域経済を活性化させるための施策、教育・子育ての環境整備と市民の暮らしを守るための対策を進める。各分野における人づくりと人材確保、カーボンニュートラル、行財政運営の最適化に積極的に取り組む。市制施行70周年を市民との協働で盛り上げていく。

- 令和6年度は、5年間の計画である、第六次大野市総合計画前期基本計画の4年目となります。総合計画の将来像である「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」の実現に向け、全庁体制で取り組みます。
- 市制施行70周年の大きな節目を生かし、市民や団体、企業などの自発的な活動をより一層促進し、「100年先も誇れる大野市」を目指します。
- 中部縦貫自動車道大野油坂道路九頭竜IC～油坂出入口（仮称）間の令和8年春開通、北陸新幹線金沢 - 敦賀間の開業といった100年に一度のチャンスを最大限生かせるよう、地域経済を活性化させる施策を進めます。
- 子どもや若者を地域全体で支える、若者が大野で住んで、結婚して、子育てしたくなるような施策に取り組みます。小中学校再編後の教育環境の整備として、対象となる学校の改修工事を引き続き実施し、天候に左右されない屋内型子どもの遊び場を整備します。
- あらゆる世代に多様な学びの機会を提供するとともに、人口減少による人材不足に対応するため、農業や林業、福祉など、さまざまな分野における人づくりと人材確保に取り組みます。
- 市民の健康と暮らし、生命・財産を守るため、健康づくりの促進や生活環境の維持・整備、防災対策の強化に取り組みます。大野・勝山地区広域行政事務組合が行うごみ処理施設の基幹的設備改良工事を進めるため、必要な経費を負担します。
- カーボンニュートラルの達成に向けて、市民や事業者、行政が協力しながら、省エネルギーの推進や広大な森林を生かしたCO₂削減に取り組みます。
- 行政サービスの継続性を確保するため、情報システムの改修や業務の効率化、必要な施設の維持管理や目的を終えた施設の整理などを行い、行財政運営の最適化を推進します。

【予算案の概要】

(単位：千円、%)

会計区分	6年度当初	5年度当初	増減額	増減率
一般会計	21,380,000	19,050,000	2,330,000	12.2
特別会計	8,140,149	8,459,178	△319,029	△3.8
企業会計	2,886,730	2,259,753	626,977	27.7
計	32,406,879	29,768,931	2,637,948	8.9

(1) 予算規模

- 一般会計は、前年度当初予算と比較して12.2%増の213億8,000万円、過去最大の規模となりました。

予算が増額となった主な要因としては、ごみ処理施設の基幹的設備改良工事に伴う負担金の増加や、防災行政無線の更新、屋内型子どもの遊び場の整備、大野市小中学校再編計画に沿った学校改修などの大型事業の実施によるものです。

新規事業は、第六次大野市総合計画の各分野で、ソフト事業を中心に18事業を立ち上げ、市民や団体、企業などと協働し、持続可能なまちづくりに全力で取り組みます。

歳入は、国の定額減税による個人住民税の減額などの影響で、市税が3.4%減の36億9,209万9千円、地方交付税は前年度同額の60億5,000万円、市債は建設事業費の伸びに伴い、126.3%増の34億750万円となり、財政調整基金繰入金は前年度比1億5,000万円減の5億円とし、一定の基金残高を確保しています。

大型事業の実施により、市債残高は増加傾向にありますが、将来を見通して必要な事業を実施するため、交付税措置のある有利な地方債や国・県の補助金などの活用で財源を確保し、健全財政の維持に努めていきます。

- 特別会計は、農業集落排水事業特別会計が企業会計に移行したことなどにより、前年度当初予算と比較して3.8%減の81億4,014万9千円、企業会計は、27.7%増の28億8,673万円となりました。
- 全会計の総計は、前年度当初予算と比較して8.9%増の324億687万9千円となりました。

(2) 主要事業

高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の促進

○大野の逸品創出事業【新規】

2,911千円



全国的・国際的な見本市やコンテストへの出品を目標とする市内事業者を対象に、商品の高付加価値化を促進するセミナーの開催や個別の開発支援を行います。

○越前おおの型農業推進事業補助【新規】

2,500千円



基幹的な転作作物である麦やソバ、大豆の生産に必要で、国や県の補助の対象とならない機械の導入に対し補助します。また、ドローンの導入による農作業の省力化と後継者不足に対応するため、農業用ドローン操作講習の受講費用を補助します。

子どもや若者を地域全体で支える取組

○小中学校施設改修事業【臨時】

1,611,716千円

児童生徒の学校生活や学習環境の充実を図るため、学校施設や設備の改修工事（開成中・陽明中・下庄小）と、改修工事に向けた実施設計（有終南小・富田小）を行います。

開成中・陽明中・下庄小の工事期間 令和5年度～7年度

総事業費 約31億3,200万円

○屋内型子どもの遊び場整備事業【臨時】

308,080千円

天候に左右されず子どもたちが安全に安心して遊ぶことができる、屋内型子どもの遊び場の整備工事を行います。



安全・安心な暮らしを守る対策

○ごみ処理施設の基幹的設備改良工事のための負担金【臨時】

1,127,456千円

大野・勝山地区広域行政事務組合が行うビュークリーンおくえつの基幹的設備改良工事に、組合構成市として負担金を支出します。

工事期間 令和5年度～7年度

総事業費 約47億5,200万円



カーボンニュートラルの達成に向けた取組

○植えて育てる大野の森づくり事業補助

1,443千円



おおの森づくりプランに沿って、「伐って、使って、植えて、育てる」資源循環利用の森づくりを行うため、再造林や保育に要する経費を補助します。

市制施行70周年記念事業

○大野市制施行70周年記念式典



7月1日（月）に、市政の進展に貢献された方々への顕彰と、節目を祝うセレモニーを実施します。

※写真は60周年時